

報道関係各位

件名 特定非営利活動法人名栗カヌー工房と株式会社イオン ファンタジーとの「森林資源を活用した事業に関する 基本協定」の締結式について

1 概要

特定非営利活動法人名栗カヌー工房（代表理事：山田直行）と株式会社イオンファンタジー（本社：千葉県千葉市、代表取締役社長：藤原信幸）は、本日、「森林資源を活用した事業に関する基本協定」を締結しましたので、ご報告いたします。

2 協定の内容等

（1）これまでの経緯等

名栗カヌー工房は、平成16年から公の施設・名栗村カヌー工房（合併後の飯能市カヌー工房）の指定管理者として管理を行い、カヌー製作やそら艇指導などを卓越した技術力と経験を生かして効果的に行い、利用者や地域から高い評価を得ています。市は、こうした実績を評価し、利用者のニーズにより合致したサービス提供や地域の更なる活性化を期待し、令和3年度までの指定管理期間において、法人への施設等の譲渡を前提とした民営化の検討を行う方針を決め、市議会にその旨を報告した上で現在課題等の整理を進めています。

こうした中、本年7月に開催された市指定管理者制度事業評価会において、施設等の譲渡に当たっては、市と法人の連携を強化し、より発展的な事業展開を図るべきとの意見が出されたことを受け、市は名栗カヌー工房に対し、今後どのような事業展開を考えているかについて、書面での回答を依頼しました。

これに対し名栗カヌー工房からは、施設等の譲渡を契機に、市の森林・林業、観光産業等の振興につながる、より発展的な事業展開を図り、市の地方創生、地域の活性化に貢献したいとの回答をいただきました。また、新たな事業展開に当たっては、現在の工房が木材の保管場所を含め手狭なことから、名栗地域の未利用公共施設等を借用して事業拡張を行い、じっくりとものづくりに嗜むことができる「森の学校」、「木工大学校」のような、大人と子どもの遊び場・学び場を創りたいとの意向が示されました。

さらにこの事業の実施に当たっては、法人のこれまでの活動に着目し、業務提携に向けて話を進めているイオンファンタジーと連携し、チャレンジしたいこと、イオンファンタジーは、これまで屋内型アミューズメント施設の運営で子ども達に遊びと学びの場を提供してきたが、今後は、本物の自然を生かした屋外型の遊びと学びの場の創出に意欲があり、名栗カヌー工房との連携を検討していることなどについて回答をいただきました。

以上の経緯を踏まえ、名栗カヌー工房とイオンファンタジーが連携、協力し、飯能市内の森林資源を活用した事業の実施を通じて、多くの人々に遊びと学びの場を提供し、もって市内の森林の持つ多面的機能の高度発揮と地域の活性化を図ることを目指し、本日の基本協定締結に至りました。

飯能市は、市域の75%の森林を有し、かつ、水源地を抱える自治体として、森林の有する多面的機能を将来にわたり維持・増進していく使命があります。現在市が取り組んでいる水源地域間伐事業により、健全な森林を次世代へ引き継ぐとともに、森林を林業以外の観光や教育、健康づくりなど、新たな産業のフィールドとしての利活用に取り組み、飯能独自の森林資源利活用のビジネスモデルの構築を目指しています。両者の協定に基づく森林資源の利活用の取組は、この実現に大きく寄与するものと考えており、市では協定に基づく今後の事業展開に対し、必要な支援と協力をやってまいります。



左：大久保市長（飯能市） 中：山田代表理事（名栗カヌー工房） 右：藤原社長（イオンファンタジー）

（2）連携協力事項等

今回の基本協定の中に盛り込まれた連携協力事項は、次のとおりです。

- ①森林資源を活用した遊びと学びに関するここと
- ②森林資源を活用した環境教育や普及啓発等に関するここと
- ③森林資源を活用した木質バイオマスエネルギーに関するここと
- ④森林資源を活用した地域の活性化、交流人口の増加に関するここと
- ⑤その他双方が協議して必要と認める事項

本協定の目的を達成するための具体的な事業については、今後双方が協議の上、順次取組を進め、飯能市内の森林の持つ多面的機能の高度発揮と地域の活性化を目指してまいります。

担当者 森林づくり推進課 吉澤 TEL 042-978-5061	担当者 名栗カヌー工房 山田 TEL 042-979-1117	担当者 イオンファンタジー 圓藤、山本、飯沼 TEL 043-212-6188
----------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------------------------